

クルーズクルーズサマリー

1. 航海情報

- YK18-06
- よこすか
- 航海名：プレート境界浅部すべり地震の履歴調査海溝型巨大地震・巨大津波：実態解明に向けた地質・地球物理調査研究
- 首席研究者：金松敏也 [海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者：小平秀一 [海洋研究開発機構]
- 航海期間：平成 30 年 5 月 21 日（月）～ 平成 30 年 5 月 29 日（火）までの 9 日間
- 出港地～寄港地～帰港地
- 調査海域名：横須賀新港～JAMSTEC 横須賀

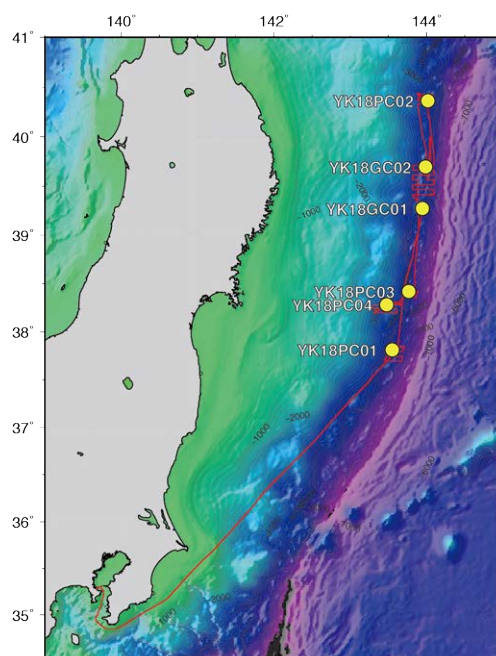


図1: ピストンおよびグラビティーコアリングの実施点（黄丸）、およびYK18-06 シップトラック（赤線）

2. 実施内容

- 海底堆積物試料の採集を行い、地震タービダイト層の形成年代の特定とその分布範囲の解明をすすめ、2011 年以前の大規模浅部すべりイベント発生の履歴を明らかにすることを目的とした調査は、水深 4000～6000m のミッドスロープテラスと呼ばれる範囲を調査した。NT13-19 や YK14-E01 で採取できなかった場所や、高品質な試料を得られていない場所で、試料採取を実施した。堆積場を評価するために地形およびサブボトム調査も実施した。4 点のピストンコアリングと 2 点のグラビティーを実施した。